

平成 31 年度第 1 回知的障害者支援部会記録

日時) 平成 31 年 4 月 5 日 (金) 10 : 00 – 11 : 30

場所) 香川県手をつなぐ育成会

参加者) 香川県手をつなぐ育成会

香川中部養護学校

地域生活支援センターこだま

相談支援センターりゅうん

高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

内容)

①余暇支援資源集最終稿確認

4/18 相談支援部会にて圏域内相談支援事業所へ解説付き配布。

②今年度テーマ

◎親ある間について

☆「親ある間相談室」を来年度あたまから掲げてもらえるよう知的部会で協議していく。

i 渡部伸氏をお招きしての「親ある間にできること」についての講演会の実施に向けて準備をしていく。

可能ならば支援者向けと保護者など一般向けの二本立てで

ii 年度後半でさらに必要な研修等を企画し、「親ある間相談室」設置に向けて準備を。

* 「親ある間相談室」がことさら仰々しいものを目指すことではないこと、地域での日ごろの相談支援のなかで行っているものと違うものではないこと（相談・生活の場・経済面）、また、障害種別で大きく異なるものでもないこと一を確認。

* 中部養護学校、育成会は相談室設置後も部会を通じるなどして相談室の利用を周知、また事例によっては個別に繋ぐなどの協力体制を維持。

◎地域移行について

☆川部みどり園をお招きして過去に実施されたみどり園の地域移行についてまた移行した方のその後について、うかがおう。

・育成会の全国研修のなかの 1 コマに、国立のぞみの園の地域移行に関する報告があり、とても良かった。これまで親の立場で「（安心できる）施設から出ても…」と思っていたところがあるが、本人が丁寧に体験をして意思を確定していく様子の様子や移行後のアフターフォローの様子をうかがうと考え方が変わった。

・可能であれば視察などを行って現地で体感してきたものをフィードバックすることができていいのでは。

・例えば過去に養護学校にあった「生活体験の場（一人暮らしや親元を離れた生活を体験してみることができ場）」が必要ではないか。

・「地域相談」を活用して相談支援と入所施設サビ管等がいっしょに地域移行に取り組めることに向けてできることを探したい。

③その他

協議会フライヤー配布、ホームページについて周知

* 次回 5 月 24 日 (金) 10 : 00 ~ 香川県手をつなぐ育成会にて